



2022 年 9 月

- 今回のリリースでの新機能 (1 ページ)
- このリリースでの変更点 (2 ページ)
- 不具合 (3 ページ)

今回のリリースでの新機能

ロケーション階層

次の新機能がロケーション階層に導入されました。

ロケーション階層で Meraki MT がサポートされるようになりました。MT センサーからデータを受信するために必要な構成は、Cisco Spaces と Meraki の統合を使用して更新されます。MT センサーはロケーション階層に自動的にインポートされます。

ロケーション階層 2.0 は、機能強化されたベータ版リリースのロケーション階層であり、ユーザーインターフェイスが刷新され、既存のロケーション階層機能とともにパフォーマンスが向上しています。

新機能は次のとおりです。

- 地理位置情報を更新するためのインタラクティブなグローバルマップ
- フロアマップでポリゴンゾーンと AP マーカーを作成および編集するオプション
- 未分類の AP グループ



(注) Cisco Spaces で、メニュー (☰) をクリックし、**[Location Hierarchy] > [Beta UI]** を選択してロケーション階層 2.0 を有効にします。[Beta UI] トグルボタンを使用すると、ロケーション階層 2.0 とロケーション階層 GUI が切り替わります。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の新機能が導入されました。

Cisco pxGrid クラウド

Cisco Spaces ダッシュボードは、Cisco pxGrid クラウドの導入をサポートするようになりました。Cisco pxGrid クラウドを使用すると、Cisco Identity Services Engine (Cisco ISE) と他のクラウドベースのソリューションとの間でコンテキスト情報を共有できます。

Cisco Spaces ダッシュボードで Cisco pxGrid クラウドを設定するには、[Cisco DNA - Cloud](#) からのトークンが必要です。このトークンを pxGrid クラウドで検証する必要があります。検証に成功すると、アプリが pxGrid クラウドでアクティブ化され、Cisco Spaces ダッシュボードでサービスを使用できるようになります。



(注) 現在、Cisco Spaces では Cisco pxGrid クラウド GUI のサポートのみを利用できます。将来的にはバックエンドの変更が含まれる予定です。

Firehose

Firehose に WEBEX テレメトリという新しいイベントが追加されました。このイベントは、ロケーション内の Cisco Webex デバイスからテレメトリデータを受信したときに開始されます。



(注) 現在、Cisco Spaces パートナーダッシュボードでこのイベントを有効にするための GUI サポートは利用できません。バックエンドからこの新しいイベントを有効にするには、[Cisco Spaces サポート](#)にお問い合わせください。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

- **Meraki ネットワークのカメラゾーンのサポート** : Meraki にカメラゾーンを持つ新しく追加されたネットワークの場合、ゾーンがネットワークとともに [Location Hierarchy] に追加されます。

既存のネットワークの場合、Meraki で追加、変更、または削除されたカメラゾーンは、バックグラウンド同期プロセス中に [Location Hierarchy] と同期されます。



(注) 現在、Cisco Spaces ダッシュボードにカメラゾーンを表示する GUI サポートは利用できません。

- **IoT Explorer** : Cisco Spaces ダッシュボードは、IoT Explorer アプリの [Temperature Monitoring] セクションで MT センサーデバイスのインポートをサポートするようになりました。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- **識別子** : 各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- **説明** : 不具合が発生したときに観察された内容の説明。

Cisco Spaces のこのリリースでは未解決の不具合はありません。

解決済みの不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 1: Cisco Spaces 解決済みの不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCwd19341	検出と位置特定アプリにダッシュボードビューが表示されない
CSCwc46949	ユーザーが複数のロケーションを選択すると、ロケーション分析のカスタムウィジェットがロードされ続ける
CSCwc91835	503 エラーページからレポートボタンをクリックすると、無効な電子メールアドレスが表示される
CSCwc93338	Meraki AP が検出と位置特定で正しく配置されていない
CSCwd02169	フロアマップイメージがレンダリングされず、クライアントが検出と位置特定に表示されない

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。